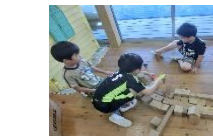


アプローチ・スタートカリキュラム

「このカリキュラムについて」 このカリキュラムは具体的な子どもの姿を記述してあります。特に幼児教育の記述においては「～できる、～させる」ではなく、「味わう・楽しむ・感じる」等を示しています。

具体的な活動



【子どもの気持ち】



ランドセルを背負って歩くのが楽しみだな。ちゃんと歩いていけるかな。

お勉強楽しみだな。勉強がんばれるかな。

どんな先生かな。いろいろなことを教えてくれるかな。

仲良しの友達と別の学校でさみしいな。お友達はできるかな。

小学校って遊ぶ時間あるのかな。何して遊ぶのかな。

給食はおいしいかな。お当番はあるのかな。



【家庭教育の視点】



早寝早起き朝ごはんなどの、生活リズムをつけましょう。

通学路をお子さんと一緒に歩いて、距離感や危険な場所などを確認しましょう。

家族で食事を楽しみ、食の大切さを伝えましょう。

お手本を示し、あいさつや返事の習慣を身に付けさせましょう。

自分のことは自分でできるように、温かく見守りましょう。

多くの自然体験や生活体験の機会を作り、お子さんとともに楽しみましょう。

読み聞かせをして、お子さんと一緒に時間を過ごしましょう。

メディアとの接し方を考えて、家庭のルールをつくりましょう。

積極的にお手伝いをさせ、たくさんほめてあげましょう。

不安なことは早めに先生方に相談しましょう。



アプローチカリキュラム ～1・2・3月 幼児期の終わり(卒園)

スタートカリキュラム (入学) 4・5月～

具体的な活動



生活する力

- ＜生活のリズム＞
- ・一日の流れや時間を意識し、見通しをもって生活しようとする。
 - ・午睡のない生活に慣れる。
- ＜食事・排泄＞
- ・食事のマナーを守って楽しく食べようとする。
 - ・一定の時間内に食べ終わることを意識して楽しく食事をする。
 - ・活動の区切りにトイレを済ませる。
 - ・使用後の後始末や手洗いなど、ひと通りの流れを身に付ける。
- ＜身の回りの整理＞
- ・自分のものやみんなでするものを大切に使う。
- ＜安全＞
- ・安全な遊び方や災害時の身の守り方を覚える。

関わる力

- ＜友達との関わり＞
- ・友達によさに気づき、楽しさや喜びを共有して遊ぶ。
- ＜言葉による伝え合い＞
- ・友達や先生との会話を楽しみ、親しみをもって聞いたり話したりする。
- ＜規範意識＞
- ・約束やきまりを守って生活する。

学ぶ力

- ＜体を動かす遊び＞
- ・戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを感じたり、いろいろなことに挑戦したりする。
- ＜感性や表現＞
- ・イメージしたことをいろいろな形で表現し、遊びに取り入れ友達と一緒に楽しむ。
- ＜自然との関わり＞
- ・自然と触れ合う中で、発見や気付く楽しさを味わう。
- ＜数量・図形や文字＞
- ・生活や遊びの中で数や文字などに興味をもち、楽しむ。
 - ・自分の名前を読み、また、書こうとする。
- ＜学ぶ姿勢＞
- ・友達と共通の目的に向けて考えを出し合い、協力して活動を進めていく。

小学校入学時の子どもの姿

- 一日の流れや時間を意識して生活する。
 - 時間で活動の切り替えをすることが難しい。
 - 友達と楽しく給食を食べる。
 - 献立により好き嫌いが残り、残す。
 - 水洗トイレの正しい使い方が分かり、きれいに使う。
 - 和式トイレの使い方に慣れない。
 - 新しい友達や先生など、様々な人と進んで関わろうとする。
 - 新しい環境の中で、自分らしく表現することが難しい。
 - 気持ちのよいあいさつや返事をする。
 - 自分からあいさつができないときがある。
 - 話を落ち着いて最後まで聞こうとする。
 - 全体の話や指示がわからないことがある。
 - 自分の名前を書いたり読んだりする。
 - 正しい鉛筆の持ち方が、まだ難しい。
 - 遊具で遊んだり、草花を摘んだり、虫を見付けたりしている。
 - 戸外より室内での遊びを好んでいる。
 - 知っている歌を楽しく歌ったり、踊ったりする。
 - 新しい雰囲気や慣れず、友達の様子を見ている。
- 一人一人の育ちは違います。個々に応じて関わっています。ご安心ください。

生活する力

- ＜生活のリズム＞
- ・学校生活を知る。
 - ・時刻に合わせて活動することができるようになる。
- ＜食事・排泄＞
- ・前ボタンの給食着を着脱し、畳んで片付けることができるようになる。
 - ・大人用の便器に慣れ、休み時間にトイレを済ませる。
- ＜身の回りの整理＞
- ・手順に沿って担当の場所の掃除をすることができるようになる。
 - ・学習用具の準備や後片付けなど、自分のことが自分でできるようになる。
- ＜安全＞
- ・交通ルールや通学路を覚え、安全に登下校できるようになる。

関わる力

- ＜友達との関わり＞
- ・友達を作り、友達関係を広げながら仲良く遊ぶ。
 - ・少人数によるグループ学習で、友達と助け合おうとする。
- ＜言葉による伝え合い＞
- ・集団生活を共に活動する中で、言葉で伝え合う楽しさを感じる。
- ＜規範意識＞
- ・学校のルールやマナーを守って生活する。

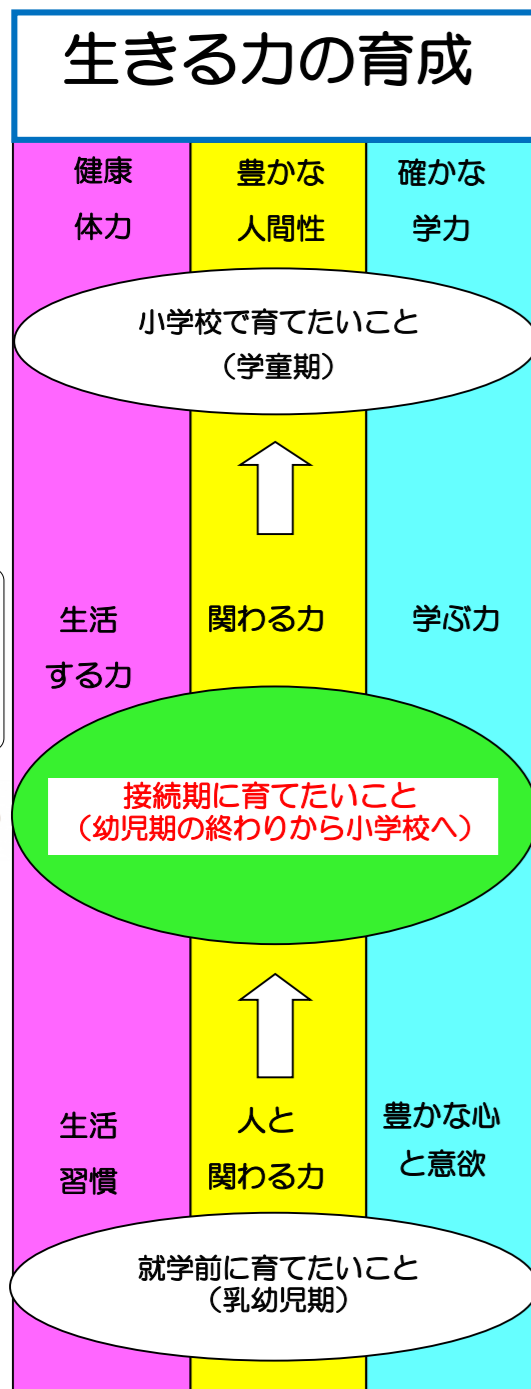
学ぶ力

- ＜体を動かす遊び＞
- ・いろいろな運動や新しい体の動きをまねて、楽しんで挑戦しようとする。
- ＜感性や表現＞
- ・リズムに合わせて、感じたことを楽しみながら身体で表現しようとする。
 - ・想像をふくらませて、作品をつくり、描いたりすることを楽しむ。
- ＜自然との関わり＞
- ・身近な自然を観察し、季節を感じて表現しようとする。
- ＜数量・図形や文字＞
- ・ひらがなを読んだり、書いたりしようとする。
 - ・10までの数について正しい書き方や読み方を知り、順番を数で表す。
- ＜学ぶ姿勢＞
- ・友達と仲良く関わり、自分の思いを伝えようとする。

土台となる家庭教育

接続期に育てたい3つの力

「就学前に育てたいこと」の3つの視点（「生活習慣を身に付ける」「人と関わる力を育む」「豊かな心と意欲を育む」）をもとに「接続期に育てたい力」を「生活する力」「関わる力」「学ぶ力」と整理しました。これら3つの力は「生きる力」の基礎となります。



気になること Q&A

Q & A

- Q・朝ごはんを食べずに登校したら、学校生活に何か影響がありますか。
- A・集中力がなくなり、イライラしたり、眠くなったりするなど、学校生活に支障をきたすお子さんもいます。毎朝、ご飯を食べて登校する習慣をつけてください。
- Q・給食での好き嫌いが多いのですが、個別の対応をしてもらえますか。
- A・学校では、無理に給食を食べさせることはしていませんが、食育をとおして時間をかけて少しずつ食べられるようにしています。
- Q・文字の書き順を間違えて覚えているのですが、直したほうがよいですか。
- A・一年生で繰り返し指導しますが、書き順と鉛筆の持ち方は、直すことが難しいことは事実です。入学前からの早めの対応が効果的です。
- Q・学習面や生活面でつまずきがあり、登校を渋ったとき、学校ではどのように対応していますか。
- A・登校を渋ったときは、すぐ担任に連絡をしてください。家庭と学校で連携して対応することが大切です。
- Q・小学校入学後、学習面や生活面で困ったことがあった場合、どのような支援を受けられますか。
- A・まずは、担任の先生にご相談ください。おうちの方と一緒に、お子さんに合った方法を考えていきます。



【参考文献】

茨城県教育委員会
「茨城県保幼小接続カリキュラム」平成30年3月
鹿嶋市教育委員会
「鹿嶋市アプローチ・スタートカリキュラム」
平成30年3月

鹿嶋市

「家庭の支えで 園から小学校へ」

～家庭教育と園教育と
学校教育をつなごう！～
(2019年3月)



『地域が育て 地域で育ち 地域を創る 鹿嶋っ子』

鹿嶋市教育委員会

アプローチ・スタートカリキュラム

幼児期の自発的な遊びを通して育まれた育ちや学びが小学校以降の教育の土台となります。この幼児期の「育ちと学び」をつなぐことを目的とし、接続期の子どもたちの実態に応じた指導内容を示したものです。

園教育から小学校教育への接続期

卒園・入学		
5歳児 (幼稚園・保育園・認定こども園)	小学校1年生	
～1・2・3月	4・5月～	
なめらかに接続		
アプローチカリキュラム	スタートカリキュラム	
接続期に育てたい3つの力		
生活する力	関わる力	学ぶ力

『アプローチカリキュラムとは』

小学校就学目前の5歳児の1月から3月の期間において、これまでの子どもたちの育ちの確認をしながら、小学校での生活や学習を意識した教育を展開していきます。

『スタートカリキュラムとは』

小学校入学後の4月から5月の期間において、園での教育で育んだ力を生かすとともに、学校生活への変化に対応できるよう配慮しながら指導をしていきます。

「遊び」が育てる 「学び」の未来

幼児期の自発的な遊びの中で育まれた、やり抜く力や協調性などの※「非認知的能力」が、小学校以降の学びにつながります。

【茨城県教育委員会】

※目に見えない情緒的・内面的能力です。意欲、興味・関心、粘り強さ、協同性、優しさ、勇気などです。これらは幼児から発達し、学びに向かう力になります。読み書き計算などの能力とは異なります。